

再評価事業概要

事業主体	広島県大竹市	事業種別	大竹市公共下水道事業	総事業費	223億円
------	--------	------	------------	------	-------

項目		全体計画	認可計画	備考
(汚水)				
処理区域面積	(ha)	726	678	
処理施設名称		大竹下水処理場	大竹下水処理場	
処理方法		高度処理	標準活性汚泥法	
処理能力	(m ³ /日)	25,170	25,170	晴天時最大
	(m ³ /日)	96,970	96,970	雨天時最大
計画処理人口	(人)	30,680	29,710	
事業採択年度		昭和35年度	昭和35年度	
(雨水)				
処理区域面積	(ha)	873	825	
事業採択年度		昭和35年度	昭和35年度	

(汚水)

再評価実施後10年間を経過した時点で継続中の事業に係る評価手法選定表

別添-1

事業主体	広島県大竹市	事業種別	公共下水道事業		処理区	大竹処理区
事業目的	生活環境の改善, 公共用水域の水質保全および浸水の防除					
事業費	当初全体計画 (平成10年度)	254億円	当初認可計画 (平成10年度)	155億円	現行認可計画	223億円
計画見直し等の推移	項目	当初全体計画 (平成10年度)	当初認可計画 (平成10年度)	現行認可計画	整備状況 (H19年度末)	
	処理区域面積	(ha)	761.9	706.2	678.4	651.8
	処理人口	(人)	43,000	36,800	30,680	27,618
	流入水量	(m ³ /日)	34,310	27,960	20,420	20,076
	管渠延長	(km)	167	155	146	135
	ポンプ場箇所数	(箇所)	5	5	5	5
	処理場処理能力	(m ³ /日)	38,720	33,780	25,170	25,170
	汚泥処理能力	(t/日)	5.2	4.2	3.3	3.3
評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	(1) 関連計画の状況 広島湾流域別下水道整備総合計画に基づき、快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るべく、下水道事業の整備推進を行っている。 (2) 関連事業の状況 市内北部地域で開発事業が計画されている。これに対応した整備を進めている。					
事業の進捗状況	(1) 進捗率 本市の下水道事業は、昭和35年度に都市計画決定、事業認可を受けて事業着手し、順調に整備が促進されており、ほぼ整備が完了している。 (2) 面整備の進捗状況 平成19年度末における整備済面積は認可面積678.4haに対し、668.6haとなっており、整備率は99%となっている。 (3) 処理場用地の取得状況 全て取得済である。 (4) 施設の供用状況 事業計画25,170m ³ /日最大の処理能力のうち、すべてを供用している。また公共用水域の水質保全を図るべく、広島湾流域別下水道整備総合計画に対応した高度処理を順次導入していく予定である。					
地元情勢	事業着手時点から事業促進に対して、地権者及び地域住民の理解と協力を得ており、未整備地域の住民からの早期供用開始の要望も大きい。					
総合評価						
上記事項について概ね良好であるため、チェックリスト等により評価を行う。						

事業主体	広島県大竹市	事業種別	公共下水道事業		処理区	大竹処理区
事業目的	生活環境の改善, 公共用水域の水質保全および浸水の防除					
事業費	当初全体計画 (平成10年度)	254億円	当初認可計画 (平成10年度)	155億円	現行認可計画	223億円
計画見直し等の推移	項目		当初全体計画 (平成10年度)	当初認可計画 (平成10年度)	現行認可計画	整備状況
	処理区域面積	(ha)	761.9	706.2	678.4	651.8
	処理人口	(人)	43,000	36,800	30,680	27,618
	流入水量	(m ³ /日)	34,310	27,960	20,420	20,076
	管渠延長	(km)	167.0	155.0	146.0	135.0
	ポンプ場箇所数	(箇所)	5	5	5	5
	処理場処理能力	(m ³ /日)	38,720	33,780	25,170	25,170
汚泥処理能力	(t/日)	5.2	4.2	3.3	3.3	
項目別評価						
項目	評価					
事業費の推移 (単位: 百万円)	順調に推移している。					
処理場用地の取得状況	事業に必要な用地は取得済である。					
施設の供用状況	事業計画25,170m ³ /日最大の処理能力すべてを供用している。					
供用開始区域の接続状況	H19年の接続人口は98%であり, 極めて良好である。今後も整備区域拡大に併せて, 早期接続への啓発活動に努める。					
地元情勢の変化の有無	事業に対する反対はない。					
社会経済状況	事業着手後の社会経済情勢の変化に合わせて, 適正に計画を見直している。					
自然環境条件	平成19年度に第6次総量削減計画が策定されている。					
全体計画の変更	各情勢及び条件の変化に伴い, 適正に全体計画を見直している。					
費用効果分析	汚水: B/C=2.0					
総合評価						
上記の再評価結果から, 今後も地元及び議会に理解と協力を得ながら, 円滑な事業を進めていく。費用効果分析結果は1.0以上であるため, 費用対効果はあるものと考えられる。以上のことから, 今後も事業を継続するものとする。						

事業主体	広島県大竹市	事業種別	公共下水道事業		処理区	大竹第一排水区他
事業目的	生活環境の改善, 公共用水域の水質保全および浸水の防除					
事業費	当初全体計画 (平成10年度)	254億円	当初認可計画 (平成10年度)	155億円	現行認可計画	223億円
計画見直し等の推移	項目		当初全体計画 (平成10年度)	当初認可計画 (平成10年度)	現行認可計画	整備状況 (H19年度末)
	処理区域面積	(ha)	761.9	706.2	678.4	651.8
	処理人口	(人)	-	-	-	-
	流入水量	(m ³ /日)	-	-	-	-
	管渠延長	(km)	201	186	66	41
	ポンプ場箇所数	(箇所)	6	6	5	4
	ポンプ場排水能力	(m ³ /分)	2,047	2,047	1,897	1,589
汚泥処理能力	(t/日)	-	-	-	-	
評価手法の判定項目						
項目	評価					
関連計画及び関連事業の状況	<p>(1) 関連計画の状況 広島湾流域別下水道整備総合計画に基づき, 浸水の防除を図るべく, 下水道事業の整備推進を行っている。</p> <p>(2) 関連事業の状況 市内北部地域で開発事業が計画されている。これに対応した整備を進めている。</p>					
事業の進捗状況	<p>(1) 進捗率 本市の下水道事業は, 昭和35年度に都市計画決定, 事業認可を受けて事業着手し, 順調に整備が促進されている。</p> <p>(2) 整備の進捗状況 平成19年度末において, 玖波雨水排水ポンプ場の一部と新町雨水排水ポンプ場を除き整備が完了している。</p> <p>(3) 用地の取得状況 新町ポンプ場を除き用地は取得済みである。</p> <p>(4) 施設の供用状況 事業計画1,897m³/分の排水能力のうち, 1,589m³/分を供用している。</p>					
地元情勢	事業着手時点から事業促進に対して, 地権者及び地域住民の理解と協力を得ており, 近年は局所的集中豪雨が頻発していることもあって雨水整備に対する地元住民の要望は大きい。					
総合評価						
上記事項について概ね良好であるため, チェックリスト等により評価を行う。						

(雨水)

再評価チェックリスト

別添-2

事業主体	広島県大竹市	事業種別	公共下水道事業		処理区	大竹第一排水区他
事業目的	生活環境の改善, 公共用水域の水質保全および浸水の防除					
事業費	当初全体計画 (平成10年度)	254億円	当初認可計画 (平成10年度)	155億円	現行認可計画	223億円
計画見直し等の推移	項目		当初全体計画 (平成10年度)	当初認可計画 (平成10年度)	現行認可計画	整備状況
	処理区域面積	(ha)	761.9	706.2	678.4	651.8
	処理人口	(人)	-	-	-	-
	流入水量	(m ³ /日)	-	-	-	-
	管渠延長	(km)	201.0	186.0	66.0	41.0
	ポンプ場箇所数	(箇所)	6	6	5	4
	ポンプ場排水能力	(m ³ /日)	2,047	2,047	1,897	1,589
	汚泥処理能力	(t/日)	-	-	-	-
項目別評価						
項目	評価					
事業費の推移 (単位: 百万円)	順調に推移している。					
ポンプ場用地の取得状況	新町雨水排水ポンプ場を除き, 用地を取得済みである。					
施設の供用状況	事業計画1,897m ³ /分の排水能力のうち, 1,589m ³ /分を供用している。					
供用開始区域の接続状況	-					
地元情勢の変化の有無	事業に対する反対はない。					
社会経済状況	事業着手後の社会経済情勢の変化に合わせて, 適正に計画を見直している。					
自然環境条件	近年, 局所的な集中豪雨が頻発していることもあり, 雨水整備に対する要望は大きい。					
全体計画の変更	各情勢及び条件の変化に伴い, 適正に全体計画を見直している。					
費用効果分析	雨水: B/C=4.3					
総合評価						
上記の再評価結果から, 今後も地元及び議会に理解と協力を得ながら, 円滑な事業を進めていく。費用効果分析結果は1.0以上であるため, 費用対効果はあるものと考えられる。以上のことから, 今後も事業を継続するものとする。						